

京畿道坡州市文山邑及び京畿道金浦市通津邑でアフリカ豚コレラ確認(12例、13例目)

10月3日、農林畜産食品部は京畿道坡州市文山邑及び京畿道金浦市通津邑でアフリカ豚コレラが確認されたとの報道資料を発売したところ、概要をまとめると以下のとおり。

1. 京畿道坡州市文山邑(12例目)

<http://www.mafra.go.kr/mafra/293/subview.do?enc=Zm5jdDF8QEB8JTJGYmJzJTJGbWFmc mEIMkY2OCUyRjMyMTU2NSUyRmFydGNsVmllldy5kbyUzRg%3D%3D>

10月2日、京畿道坡州市文山邑所在の豚農場1か所(約2,300頭飼育)からアフリカ豚コレラ(ASF)疑い畜が申告されたため、農林畜産検疫本部で精密検査を行った結果、ASFと確定された。

*防疫帯の現況:(半径500m内)申告農場のみ/(500m²キ口)農場なし

2. 京畿道金浦市通津邑(13例目)

<http://www.mafra.go.kr/mafra/293/subview.do?enc=Zm5jdDF8QEB8JTJGYmJzJTJGbWFmc mEIMkY2OCUyRjMyMTU2NyUyRmFydGNsVmllldy5kbyUzRg%3D%3D>

10月2日、京畿道金浦市通津邑所在の豚農場1か所(約2,800頭飼育)でアフリカ豚コレラ(ASF)疑い畜が申告されたため、農林畜産検疫本部で精密検査を行った結果、ASFと確定された。

*防疫帯の現況:(半径500m内)申告農場を含む3か所約6,450頭/(500m²キ口)6か所18,065頭

3. 防疫措置

いずれに事例に対しても農林畜産食品部は、畜産農家や畜産関係者はASFの発生や伝播防止に向け、農場や関連施設への消毒など、防疫措置を徹底し、疑いの症状がないか綿密に観察し、異常がある場合には家畜防疫機関などに速やかに届け出るよう求めている。

(以上)